

## 試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：ニホンナシ新品種「千葉 K3 号（秋満月）」の育成			
<p>[要約]「秋満月」は成熟期が9月中旬～10月上旬の晩生の赤ナシ品種である。果重は約730gと大果であり、糖度は13.2、pHは5.3で酸味が少なく甘い。果肉は軟らかく、滑らかで多汁であり、食味は極めて良好である。果実の日持ち性は常温で28日と長い。園地及び年次によりみつ症重症果の発生が認められる。</p>			
キーワード：ニホンナシ、「千葉 K3 号」、品種育成、晩生、「秋満月」			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 果樹研究室	
	協力機関		
実施期間	2012年度～2016年度		

### [目的及び背景]

千葉県のニホンナシの品種構成は、「幸水」、「豊水」、「新高」の3品種で全体の90%以上を占めている。このうち、晩生の「新高」は果肉が粗く、消費者の嗜好に合わなくなっている。産地では「あきづき」の導入も進んでいるが、「新高」に比べて収穫期が早いことなどから、一部を代替するにとどまっている。このため、食味が良好な晩生品種の育成が望まれている。

### [成果内容]

- 1 (育成経過) 平成13年に「豊水」を母本に、「7-7」(「新雪」×「平塚16号」)を父本にして交雑した。平成19年に初結果し、果実品質や栽培特性が特に優れていたため、平成20年に有望系統「ナシ千葉3号」と命名し、場内圃場で特性調査を進めるとともに、県内主要産地の5圃場で現地適応性を調査した。その結果、総合的に有望であると認められたため、平成25年12月27日に「千葉K3号」と命名して種苗法に基づく品種登録出願を行い、平成29年4月12日に品種登録された。令和元年に愛称を公募し、令和3年5月13日に「秋満月」と決定、公表した。
- 2 「秋満月」の主な特性は以下のとおりである。
  - (1) 晩生の赤ナシで、育成地(千葉市緑区)における収穫期は9月中旬～10月上旬である(写真1、表1)。
  - (2) 開花期は4月中旬で、「新高」より遅く「豊水」と同程度である。
  - (3) 果重は733gで「新高」より大果である。糖度は13.2、pHは5.3で、酸味が少なく甘い。硬度は3.4ポンドで軟らかく、肉質は滑らかで果汁が多く、食味は極めて良好である。
  - (4) 日持ち性は常温で28日と長い。
  - (5) 心腐れ、生理的裂果、硬化障害は発生しない(表2)。みつ症は園地及び年次によ

り重症果の発生が認められる。また、軸折れによる落果がやや認められる。

(6) 樹勢はやや弱、枝の発生密度はやや少である(表3)。腋花芽の着生はやや少ないが、短果枝の着生は多く維持も良好であり、短果枝主体のせん定で花芽の確保が可能である。

(7) 「新高」を除く主要品種と交雑和合性がある(表4)。

(8) 黒斑病には抵抗性、えそ斑点病は病徴非発現性である(表5)。黒星病は慣行の赤ナシの薬剤体系で防除可能である。

#### [留意事項]

園地及び年次によりみつ症重症果の発生が認められる。「豊水」でみつ症の発生が少ない圃場を選んで定植するとともに、選果には十分注意する。多発が懸念される場合は、やや早めに収穫する。

#### [普及対象地域]

県内全域のニホンナシ生産者

#### [行政上の措置]

#### [普及状況]

令和元年度から原種配付対策事業による苗木の配付を開始した。令和2年度までの2か年の配付実績は894本である。

#### [成果の概要]



写真1 「秋満月」の果実

表1 「秋満月」、「豊水」及び「新高」の開花期、収穫期及び果実品質

品 種	開花期 (月/日)		収穫期 (月/日)		果重 (g)	糖度 (Brix)	酸度 (pH)	硬度 (lbs)	食味	日持ち性 (日)
	始	盛	始	終						
秋満月	4/10	4/13	9/15	10/ 4	733	13.2	5.3	3.4	0.7	28
豊 水	4/ 8	4/13	8/29	9/18	521	13.0	4.8	3.6	0.2	11
新 高	4/ 5	4/10	9/18	10/ 7	632	12.4	5.2	5.1	-0.6	18

- 注1) 開花期、収穫日及び食味は平成21～23年の3か年の平均値、その他は平成19～23年の5か年の平均値  
 2) 食味の数値は悪い(-2)～普通(0)～良い(2)の5段階評価の平均値  
 3) 日持ち性は、冷暗な倉庫内に静置した果実について、育成系統適応性検定試験・特性検定試験調査方法(2007)に準じて判定した

表2 「秋満月」、「豊水」及び「新高」の生理障害の発生状況

品 種	軸折れ	心腐れ	みつ症	生理的裂果	硬化障害
秋満月	微	無	微	無	無
豊 水	微	微	中	無	無
新 高	無	微	微	少	無

- 注1) 「秋満月」及び「豊水」は平成20～23年の4か年、「新高」は平成21～23年の3か年調査した  
 2) 調査開始時の樹齢(枝齢)は「秋満月」が「八君」成木に高接ぎ後4年目、「豊水」及び「新高」が26年生  
 3) 育成系統適応性検定試験・特性検定試験調査方法に準じ、無、微、少、中、多の5段階で評価した  
 4) 無～多の順に1～5の値を割り付け、各年度の値の平均値を四捨五入して平均的な評価を求めた

表3 「秋満月」、「豊水」及び「新高」の樹の特性

品 種	樹 勢	枝の発生密度	短果枝の着生	腋花芽の着生
秋満月	やや弱	やや少	多	やや少
豊水	やや強	多	中	やや多
新高	強	多	多	多

- 注1) 「秋満月」は平成20～23年の4か年、は平成20～24年の5か年、「新高」は平成21～23年の3か年調査した
- 2) 調査開始時の樹齢(枝齢)は「秋満月」が「八君」成木に高接ぎ後4年目、「豊水」及び「新高」が26年生
- 3) 樹勢は、弱、やや弱、中、やや強、強の5段階で評価した
- 4) 樹勢以外の項目は、少、やや少、中、やや多、多の5段階で評価した
- 5) 樹勢は弱～強、樹勢以外は少～多の順に1～5の値を割り付け、各年度の値の平均値を四捨五入して平均的な評価を求めた

表5 「秋満月」、「豊水」及び「新高」の黒斑病及びえそ斑点病に対する特性

品 種	黒斑病	えそ斑点病
秋満月	抵抗性	病徴非発現性
豊水	抵抗性	病徴非発現性
新高	抵抗性	病徴発現性

表4 「秋満月」の交雑和合性

交雑組合せ		結実率 (%)
雌	雄	
秋満月	千葉K3号	10
長十郎	秋満月	87
豊水	秋満月	93
幸水	秋満月	73
新興	秋満月	93
新高	秋満月	0
平塚16号	秋満月	93
若光	秋満月	-
なつひかり	秋満月	100
あきづき	秋満月	97
秋満月	長十郎	70
秋満月	豊水	87
秋満月	幸水	83
秋満月	新興	70
秋満月	新高	0
秋満月	平塚16号	86
秋満月	若光	90

- 注1) 調査は平成26～27年に行った
- 2) 10～15花そうを供試し、1花そう当たり2花に受粉した
- 3) 開花前に花そうごと被袋した後、受粉直後に再度被袋、受粉15～16日後に除袋、受粉29～31日後に調査した
- 4) - は欠測を示す

[発表及び関連文献]

- 1 令和3年度試験研究成果発表会(果樹部門)
- 2 押田ら、ニホンナシ新品種「千葉K3号」の育成、令和2年度園芸学会春季大会、2020年
- 3 押田、大果で良食味のニホンナシ「秋満月(あきみつき)」、果実日本、第76巻第10号、2021年

[その他]

プロジェクト研究事業「千葉県を元気にするオリジナル品種の開発・定着促進事業」(平成24～28年度)